

2020年（4月入学）

名古屋大学大学院国際開発研究科  
博士前期課程

Master's Program

Application Guidebook

for the Academic Year 2020

(April Enrollment)

第1期学生募集要項

First Round (September) Examination

Graduate School of International Development

(GSID)

NAGOYA UNIVERSITY

名古屋大学大学院  
国際開発研究科

## 2019 年度 学 年 曆 概 要

(4月入学)

(10月入学)

月	旬	事 項	月	旬	事 項
4 月	上 旬	春季休業(1日～4日) 入学式(5日)、ガイダンス(5日) 日本学生支援機構奨学生(在学採用)出願締切	4 月	上 旬	春季休業(1日～4日)
	中 旬	春学期授業開始(11日)		中 旬	春学期授業開始(11日)
	下 旬	学生証等交付、定期健康診断、学修計画届提出 履修申請、他大学・他研究科(学部)履修願(春学期科目)締切 春学期分授業料納入期限		下 旬	定期健康診断 履修申請、他大学・他研究科(学部)履修願(春学期科目)締切 春学期分授業料納入期限
5 月	上 旬	名古屋大学記念日(1日) (講義予備日:11日・25日)	5 月	上 旬	名古屋大学記念日(1日) (講義予備日:11日・25日)
6 月	上 旬	名大祭(13日午後～16日)  (講義予備日:29日)	6 月	上 旬	名大祭(13日午後～16日)
	中 旬			中 旬	博士学位論文提出期限(14日) 後期課程(10月入学)願書受付 (講義予備日:29日)
7 月	下 旬	春学期授業終了(26日)  前期課程願書受付  集中講義(7月下旬～9月上旬) (講義予備日:6日・13日・20日)	7 月	上 旬	修士学位論文提出期限(5日)
				下 旬	春学期授業終了(26日) 修士学位論文口述試験(19日) 後期課程(10月入学)入・進学試験 後期課程(10月入学)入・進学試験合格発表 集中講義(7月下旬～9月上旬) (講義予備日:6日・13日・20日) 大学院研究生等(一般・10月入学)願書受付
8 月	上 旬	夏季休業(8日～9月30日)	8 月	上 旬	大学院研究生等(一般・10月入学)願書受付 夏季休業(8日～9月30日)
9 月	中 旬	前期課程入学試験 国際開発海外実地研修(OFW) 前期課程入学試験合格発表	9 月	中 旬	大学院研究生等(一般・10月入学)合格発表 国際開発海外実地研修(OFW)
				下 旬	大学院入・進学手続(26日) 修了式・学位授与式(27日) 入学ガイダンス(30日)
10 月	上 旬	秋学期授業開始(2日)	10 月	上 旬	入学式(1日)
	中 旬	履修申請、他大学・他研究科(学部)履修願(秋学期科目)締切		中 旬	秋学期授業開始(2日) 日本学生支援機構奨学生(在学採用)出願締切 学生証等交付、定期健康診断 履修申請、他大学・他研究科(学部)履修願(秋学期科目)締切
	下 旬	国際開発国内実地研修(OFW)(実施時期未定) 秋学期分授業料納入期限 (講義予備日:26)		下 旬	学修計画届提出 国際開発国内実地研修(OFW)(実施時期未定) 秋学期分授業料納入期限
11 月		(講義予備日:9日・27日・28日)	11 月		(講義予備日:9日・27日・28日)
12 月	中 旬	博士学位論文提出期限(13日) 前期課程2期・後期課程(4月入学)願書受付	12 月		
	下 旬	年末授業最終日(24日) 冬季休業(28日～1月7日) (講義予備日:25日)		下 旬	年末授業最終日(24日) 冬季休業(28日～1月7日) (講義予備日:25日)
1 月	上 旬	年始授業開始日(8日)	1 月	上 旬	年始授業開始日(8日)
	中 旬	修士学位論文提出期限(10日)		下 旬	秋学期授業終了(28日)
	下 旬	秋学期授業終了(28日) 前期課程2期 入学試験			
2 月	上 旬	前期課程2期、後期課程(4月入学)入・進学試験 修士学位論文口述試験(3日)	2 月		
	中 旬	前期課程2期、後期課程(4月入学)入・進学試験合格発表 大学院研究生等(一般・4月入学)願書受付			
3 月	上 旬	大学院研究生等(一般・4月入学)合格発表	3 月	中 旬	授業料免除申請(2019年度前期(春学期)、後期(秋学期))締切
	中 旬	授業料免除申請(2019年度前期(春学期)、後期(秋学期))締切			
	下 旬	修了式・学位授与式(25日) 大学院入・進学手続(26日～27日)			
(2020年度)					
4 月	上 旬	春季休業(1日～4日)	4 月	上 旬	春季休業(1日～4日)
	中 旬	春学期授業開始、定期健康診断		中 旬	春学期授業開始、定期健康診断
	下 旬	履修申請、他大学・他研究科(学部)履修願(春学期科目)締切 春学期分授業料納入期限		下 旬	履修申請、他大学・他研究科(学部)履修願(春学期科目)締切 春学期分授業料納入期限
5 月	上 旬	名古屋大学記念日(1日)	5 月	上 旬	名古屋大学記念日(1日)
6 月	上 旬	名大祭  後期課程(10月入学)願書受付	6 月	上 旬	名大祭  後期課程(10月入学)願書受付
7 月	下 旬	春学期授業終了  後期課程(10月入学)入・進学試験 後期課程(10月入学)入・進学試験合格発表 集中講義(7月下旬～9月下旬)	7 月	下 旬	春学期授業終了  後期課程(10月入学)入・進学試験 後期課程(10月入学)入・進学試験合格発表 集中講義(7月下旬～9月下旬)
8 月		大学院研究生等(一般・10月入学)願書受付 夏季休業(未定～9月30日)	8 月		大学院研究生等(一般・10月入学)願書受付 夏季休業(未定～9月30日)
9 月	下 旬	大学院研究生等(一般・10月入学)合格発表 国際開発海外実地研修(OFW)(実施時期未定) 修了式・学位授与式 大学院入・進学手続	9 月	下 旬	大学院研究生等(一般・10月入学)合格発表 国際開発海外実地研修(OFW)(実施時期未定) 修了式・学位授与式 大学院入・進学手続

名古屋大学大学院国際開発研究科  
博士前期課程

アドミッション・ポリシー

(入学者受入方針)

本研究科では「国際開発研究科のミッション」に示された理念・目標のもとに、自立的  
研究・実務能力を備え、国際開発協力の進展に資する研究者及び高度専門職業人を養成し  
ています。

本研究科では、研究科のミッションを達成するため、以下の人材を求めます。

- ① 国際社会・各国政府・市民が直面する多様な開発課題を社会科学の理論と手法を用いて実証  
的に研究し、グローバルな視点で政策立案とその実施過程に貢献する意欲をもつ人
- ② それぞれの国や地域の実情を踏まえ、国際社会と協力して、各国の国づくりや地域づくりに  
貢献する意欲をもつ人
- ③ 世界各国の政府・大学、国際機関、企業、NGO、市民とのネットワークを構築し、地球レ  
ベルで持続可能な開発と公正な社会の実現を推し進める意欲をもつ人

# 目 次

## 2020年（4月入学） 博士前期課程 第1期学生募集要項

1. 募集人員	1
2. 願書受付期間	1
3. 出願所定用紙の入手	1
4. 選考実施の方法, 日時, 場所	1
5. 合格者発表	2
6. 入学手続	2
7. その他	3
出願資格・手続について	4

## 出願所定用紙（別冊）

入学志願書

履歴書

写真票・受験票

領収証書

受験資格審査願

あて名シール

返信用封筒

注) 出願所定用紙（別冊）の請求は、本学生募集要項（p. 1）3 出願所定用紙の入手を参照すること。

## 2020年度 博士前期課程学生募集要項（4月入学）

2020年度本研究科博士前期課程に入学させる学生を下記により募集する。

### 1. 募集人員

国際開発協力専攻

26名程度

### 2. 願書受付期間

2019年7月22日（月）～8月1日（木）

土日を除く。午前9時から午後4時まで受理する。

郵送による場合は書留郵便とし、8月1日（木）午後4時までに到着したものに限り受理する。

### 3. 出願所定用紙の入手

出願所定用紙（別冊）を入手すること。希望者には郵送するので、郵送を希望する者（日本国内在住）は、返信用封筒（角形2号〔約32cm×24cm〕）に250円分の切手を貼付し、あて名を明記したものを同封して、文系教務課・国際開発研究科入試担当に申し込むこと。なお、郵送する封筒に「2020年度前期課程（4月入学）第1期出願所定用紙（別冊）請求」と朱書すること。

返信用封筒（あて名明記。250円分の切手貼付）

海外から出願所定用紙（別冊）等を請求する場合は [gsidexam@adm.nagoya-u.ac.jp](mailto:gsidexam@adm.nagoya-u.ac.jp) まで連絡すること。

### 4. 選考実施の方法、日時、場所

(1) 第一次試験（学科試験）：2019年9月11日（水）

時間	試験科目	場所
午前9時30分 ～ 午前11時	[英語] 辞書の使用を認める。ただし、電子辞書等機械器具によるものは認めない。 試験は、問題1と問題2で構成されている。 受験者は全員、問題1（Question 1）を解答しなければならない。 問題2は、2題出題される。英英要約問題（Question 2A）と英文和訳問題（Question 2B）である。この2題の中から1題を選択して解答しなければならない。 なお、TOEFL, TOEIC 又は IELTS の公式スコア票の写し（コピー）提出をもって受験にかえることも出来る。*1 *2	名古屋大学 東山キャンパス
午後1時 ～ 午後2時30分	[論述] 論述試験を行う。論文の作成は日本語又は英語で行うこと。 設問は国際開発に関する基礎的な理解を前提とする。経済、教育、法、政治、社会開発の分野から一つの分野を選択して解答する。 辞書の使用は認めない。	詳細については、受験票発送時に通知する。

- \*1 TOEFL—Test of English as a Foreign Language  
 TOEIC—Test of English for International Communication  
 IELTS—International English Language Testing System

\*2 TOEFL-iBT (TOEFL Internet-Based Test) の場合得点が 79 点以上, TOEFL (Paper-Based Test) の場合得点が 550 点以上, TOEIC の場合得点が 730 点以上, IELTS の場合 6.0 以上であること (ただし Academic Reading と Academic Writing を含むスコアに限る)。公式スコア票に顔写真が印刷されており, 記載された試験日が出願時から遡って 2 年以内のものを有効とする。Institutional test のスコアは受け付けない。英語能力試験のスコアは、100 点満点に換算され、外国語試験受験者と同様に評価される。

第一次試験合格者発表：2019 年 9 月 12 日 (木)

時 間	場 所
午前 9 時頃	国際開発研究科玄関 (電話による照会には一切応じない。)

(2) 第二次試験 (口述試験) : 2019 年 9 月 12 日 (木)  
 (第一次試験合格者のみ)

時 間	場 所	備 考
午前 10 時から	国際開発研究科 各 教 室	日本語と英語で行う。

※第二次試験の詳細については、当日国際開発研究科玄関に掲示する。

**※不測の事態が発生した場合の諸連絡**

災害や感染症の流行等により、試験日程や選抜内容等に変更が生じた場合は、次のホームページ等により周知するので、出願前や受験前は特に注意すること。

◇国際開発研究科ホームページ URL <https://www.gsid.nagoya-u.ac.jp>

**5. 合格者発表**

- (1) 日 時 2019 年 9 月 18 日 (水) 午前 10 時頃の予定  
 (電話による照会には一切応じない。)
- (2) 場 所 国際開発研究科玄関
- (3) 通 知 発表ののち発送する。

**6. 入学手続**

詳細については 3 月上旬に別途通知する。

- (1) 手続日 2020 年 3 月 26 日 (木) ~ 3 月 27 日 (金)
- (2) 入学時に要する学生納入金
- ① 入学料 282,000 円
- ② 授業料 6 か月分 (2020 年 4 月 - 2020 年 9 月) 267,900 円 (年額 535,800 円)

(注 1) 他の大学の学籍を有する者は原則として入学が許可されない。ただし、事情により許可される

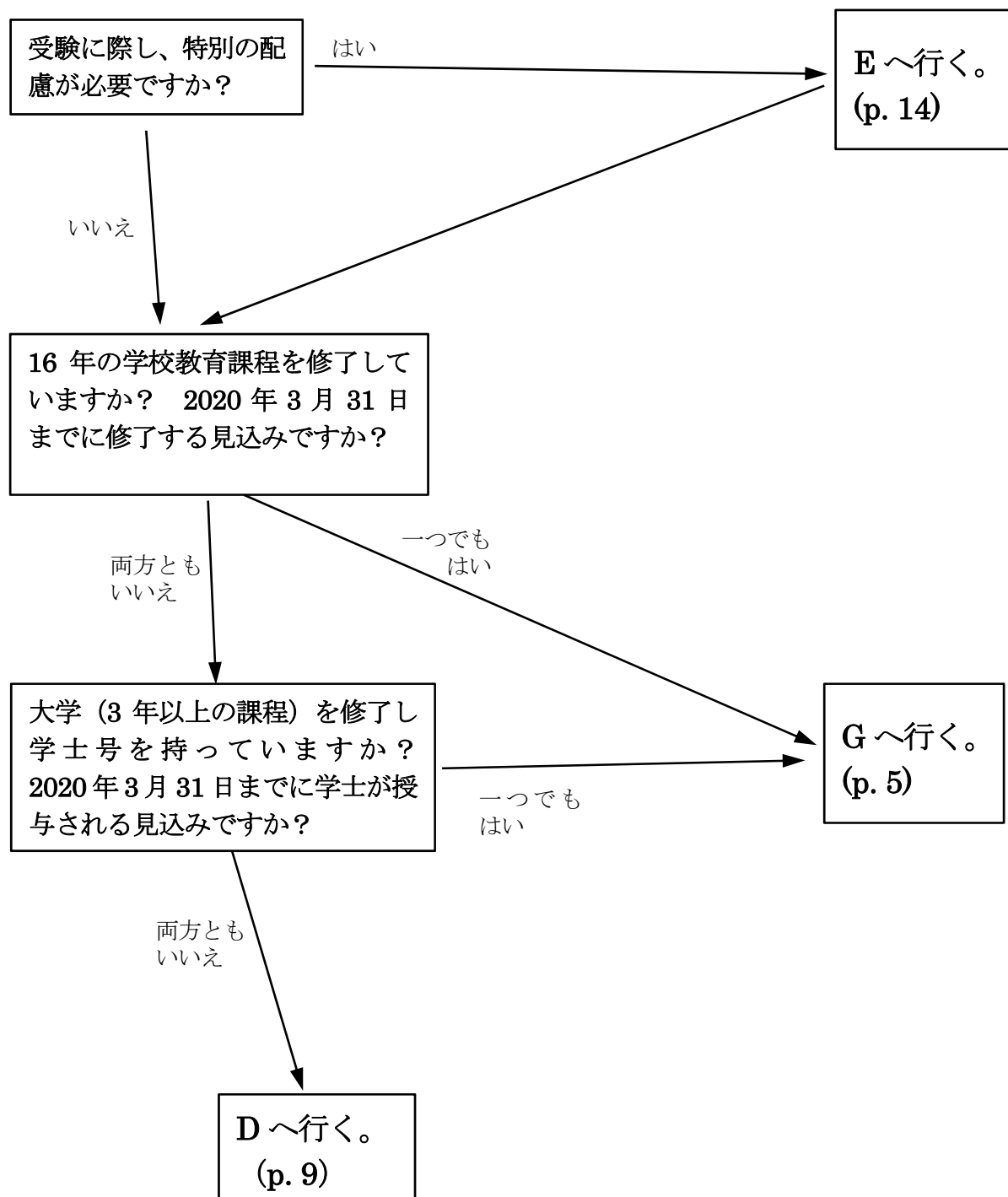
- 場合があるので、入学手続の前に文系教務課・国際開発研究科入試担当に問い合わせること。
- (注2) 入学時及び在学中に学生納入金の改定が行われた場合には、改定時から新たな学生納入金が適用される。
- (注3) 合格者のうち、有職者については入学手続時に所属長の承諾書または承諾書に代わる自己責任を明確にした書類の提出を求める。

## 7. そ の 他

- (1) 出願手続後は、書類の変更及び検定料の返付はしない。提出された書類は返却しない。
- (2) 本研究科の概要については本研究科ホームページ <https://www.gsid.nagoya-u.ac.jp> を参照すること。
- (3) 出願にあたって提供された氏名、住所その他個人情報は、入学者選抜、合格発表、入学手続き及び入学後の学務業務における学籍・成績管理を行うために利用する。取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外に使用しない。

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 B4-4 (700)  
名古屋大学文系教務課 (文系総合館 1 階)  
国際開発研究科入試担当  
電 話 : 052 (789) 4957  
FAX : 052 (789) 4921  
Email : [gsidexam@adm.nagoya-u.ac.jp](mailto:gsidexam@adm.nagoya-u.ac.jp)

## 出願資格・手続について



G. 大学を卒業した者または2020年3月31日までに卒業見込みの者 → 5ページへ。

D. 受験資格審査を受ける必要のある者 → 9ページへ。

E. 障がいのある者等で、受験上の特別な配慮を必要とする者 → 14ページへ。



## G. 大学を卒業した者または2020年3月31日までに卒業見込みの者

### 1. 出願資格

次の各号の一つに該当する者

- ① 日本の大学を卒業した者、又は2020年3月31日までに卒業見込みの者
- ② 学校教育法第104条第4項第1号の規定により学士の学位を授与された者及び2020年3月31日までに授与される見込みの者
- ③ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者、又は2020年3月31日までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、又は2020年3月31日までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、又は2020年3月31日までに修了見込みの者
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2020年3月31日までに授与される見込みの者
- ⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2020年3月31日までに修了見込みの者
- ⑧ 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）

※ 大学を卒業した者または2020年3月31日までに卒業見込みの者であっても、16年の教育を受けていない場合、受験資格審査を受けなければならない場合がある。その場合、文系教務課・国際開発研究科入試担当の指示にしたがい、書類の追加をしなければならない。

### 2. 出願書類

入学志願者は次の書類等を取りそろえ、文系教務課・国際開発研究科入試担当あてに提出すること。黒インクまたはタイプを使用すること。

#### (1) 全員が提出する書類（所定用紙）

##### A① 入学志願書\*

必要事項を記入すること。

##### A② 履歴書\*

必要事項を記入すること。

##### A③ 写真票\*・受験票\*

必要事項を記入すること。写真は、上半身脱帽で正面写し、かつ3か月以内に撮影したものを写真票に貼ること。

A④ 領収証書\*

所定用紙に氏名を記入すること。

A⑤ 返信用封筒\*： 2通

所定の封筒2通に本人の郵便受け取り用住所、郵便番号、氏名を記入し、それぞれ切手〔372円分〕を貼付する。もし日本の切手が入手できない場合は、国際返信切手券6枚を入手して同封すること。

A⑥ あて名シール\*

所定用紙を使用。住所、郵便番号、氏名を2枚とも記入すること。

\*出願書類A①・A②・A③・A④・A⑤・A⑥の請求は、この学生募集要項(p.1)の3出願所定用紙の入手を参照すること。

(2) 全員が提出する書類(書式自由)

A⑦ 志願理由・研究計画書： 3部

A4版用紙に志願理由と研究計画を、日本語3,000字以内、又は英語1,200語以内で記述すること。なお、研究題目を明記すること。

(3) 日本国籍を持っていない者が提出する書類

A⑧ パスポートの写し(コピー)

日本国籍を持っていない者は、パスポートの顔写真の載るページの写し(コピー)を提出すること。

A⑨ 在留カードの両面の写し(コピー)

日本国籍を持っていない日本国内居住者は、在留カードの両面の写し(コピー)を提出すること。

(4) 提出が任意の書類

A⑩ 推薦書

最終出身大学の指導教員、所属機関の上司などによるもので、推薦者により厳封されたもの。提出は任意。

A⑪ 自薦書

提出は任意。

A⑫ 社会人としての実務経験または研究歴に関する報告書： 3部

実務家または研究者としての経験を有する場合のみ提出することができる。A4版用紙に日本語2,000字または英語800語程度。提出は任意。

A⑬ 研究業績または実務経験の成果： 各3部

研究テーマに関連する研究業績がある場合は、研究テーマに関連する研究論文等の写し(コピー)及び論文要旨(日本語3,000字または英語1,200語程度)を提出することができる。公刊されている必要はない。公刊されている場合、公刊を証する表紙等を付すること。研究業績リストも提出すること。研究業績リストには、論文の場合、全執筆者名、論文のタイトル、雑誌名、巻号、最初の

ページと最後のページ及び出版年を記載すること。未公開の場合はその旨を明記すること。書籍の1章である場合、編者名、章のタイトル、最初のページと最後のページ、出版社及び出版年を記載すること。書籍の場合、全執筆者名、書籍のタイトル、ページ数、出版社及び出版年を記載すること。

A⑬ 研究業績： 各3部

A⑭ 研究業績の要旨： 各3部

A⑮ 研究業績リスト： 3部

A⑯ 語学能力試験の成績通知書の写し（コピー）

英語能力試験（TOEFL, TOEIC または IELTS）または日本語能力試験（JLPT）の成績通知書の写し（コピー）。提出は任意。

TOEFL-iBT (TOEFL Internet-Based Test) の場合得点が 79 点以上, TOEFL (Paper-Based Test) の場合得点が 550 点以上, TOEIC の場合得点が 730 点以上, IELTS の場合 6.0 以上 (ただし Academic Reading と Academic Writing を含むスコアに限る) であれば英語の試験を免除する。公式スコア票に顔写真が印刷されており, 記載された試験日が出願時から遡って 2 年以内のものを有効とする。Institutional test のスコアは受け付けない。

### 3. 出願書類 (G用)

上記出願書類に加えて以下の書類を提出する。

G①, G②の書類を出身大学から直接提出する場合は, 願書受付期間内に文系教務課・国際開発研究科入試担当へ必着するよう依頼すること。

G① 成績証明書

学位取得にかかわらず, 高等学校卒業後に所属した全ての高等教育機関発行のもの。写し（コピー）は不可。

G② 卒業（見込）証明書

高等学校卒業後に所属した全ての高等教育機関発行のもの。写し（コピー）は不可。

### 4. 電子ファイルの提出

以下の提出書類については, 電子ファイル（PDF ファイルまたは MS Word ファイル）を [gsidexam@adm.nagoya-u.ac.jp](mailto:gsidexam@adm.nagoya-u.ac.jp) まで送付すること。件名欄には志願者氏名を書くこと。

A⑦ 志願理由・研究計画書

A⑫ 社会人としての実務経験または研究歴に関する報告書

A⑬ 研究業績

A⑭ 研究業績の要旨

### 5. 検定料

出願者は検定料を支払わなければならない。

必要書類に 30,000 円の郵便普通為替を添え, 文系教務課・国際開発研究科入試担当に提出すること。郵便普通為替には氏名等何も記入しないこと。

Y① 30,000 円の郵便普通為替

国費外国人留学生は、検定料を必要としない。なお、他大学から受験する国費外国人留学生は、「国費外国人留学生証明書」を提出すること。

## 6. 照 会 先

不明な点は文系教務課・国際開発研究科入試担当へ照会すること。

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 B4-4 (700)  
名古屋大学文系教務課 (文系総合館 1 階)  
国際開発研究科入試担当  
電 話 : 052 (789) 4957  
FAX : 052 (789) 4921  
Email : [gsidexam@adm.nagoya-u.ac.jp](mailto:gsidexam@adm.nagoya-u.ac.jp)

## G. 大学を卒業した者または 2020 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者

### 提出物チェックシート

A①	入学志願書	全員	
A②	履歴書	全員	
A③	写真票・受験票	全員	
A④	領収証書	全員	
A⑤	返信用封筒 : 2 通	全員	
A⑥	あて名シール	全員	
A⑦	志願理由・研究計画書 : 3 部	全員	Email
A⑧	パスポートの写し (コピー)	外国人	
A⑨	在留カードの両面の写し (コピー)	外国人	
A⑩	推薦書	任意	
A⑪	自薦書	任意	
A⑫	社会人としての実務経験または研究歴に関する報告書 : 3 部	任意	Email
A⑬	研究業績 : 各 3 部	任意	Email
A⑭	研究業績の要旨 : 各 3 部	任意	Email
A⑮	研究業績リスト : 3 部	任意	
A⑯	語学能力試験の成績通知書の写し (コピー)	任意	
Y①	30,000 円の郵便普通為替	該当者	
G①	成績証明書	全員	
G②	卒業 (見込) 証明書	全員	

ここに✓をいれる。

## D. 受験資格審査を受ける必要のある者

### 1. 出願資格を有する者

次の各号の一つに該当する者は、出願資格を有する。G (p. 5) へ行く。

- ① 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2020年3月31日までに修了見込みの者
- ② 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）

大学を卒業した者または2020年3月31日までに卒業見込みの者とみなされるので、G (p. 5) へ行く

### 2. 受験資格審査を受ける必要のある者

#### (1) 受験資格が認められる場合

次の各号の一つに該当する者は、受験資格確認を受けることによって受験資格が認められる。

次の、出願資格を有する。

- Di** 日本の大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程若しくは我が国において外国の大学の課程（その修了者が学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、又は2020年3月31日までに修了見込みで、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- Dii** 本研究科において、個別の入学資格審査により、日本の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2020年3月31日までに22歳に達する者

- (2) 出願資格がないと思われる場合、または出願資格の有無を確認したい場合、受験資格確認を申請することができる。

### 3. 受験資格確認に必要な書類

受験資格確認を希望する者は次の書類等を取りそろえ、文系教務課・国際開発研究科入試担当あてに提出すること。黒インクまたはタイプを使用すること。

#### (1) 全員が提出する書類

**D①** 受験資格審査願\*（所定用紙）

必要事項を記入すること。

**D②** 履歴書\*（所定用紙）

必要事項を記入すること。（A②と同じ）

**D③** 志願理由・研究計画書： 3部

A4版用紙に志願理由と研究計画を、日本語3,000字以内、又は英語1,200語以内で記述すること。なお、研究題目を明記すること。（A⑦と同じ）

**D④** 大学（学部レベル）または最終出身学校の成績証明書

大学（学部レベル）または最終出身学校発行のもの。写し（コピー）は不可。

**D⑤** 大学（学部レベル）または最終出身学校の卒業証明書

大学（学部レベル）または最終出身学校発行のもの。写し（コピー）は不可。

**D⑥ 返信用封筒**

受験資格審査結果通知用。長形 3 号封筒〔約 12 cm×23.5 cm〕に切手〔372 円分〕を貼付したもの。もし日本の切手が入手できない場合は、国際返信切手券 6 枚を入手して同封すること。

\*出願書類 D①・D②の請求は、この学生募集要項（p. 1）の 3 出願所定用紙の入手を参照すること。

**(2) 任意の提出書類**

**D⑦ 推薦書**

所属機関の上司などによるもので、推薦者により厳封されたもの。ただし提出は任意（A⑩と同じ）。

**D⑧ 自薦書**

提出は任意（A⑩と同じ）。

**D⑨ 実務経験または研究歴証明書\*（所定用紙）**

研究歴を有する者のみ提出すること。実務経験または研究経験がある場合、そうした経験を示す在籍証明書またはそれに類する書類で、所属機関または上司により発行されたもの。

**D⑩ 研究業績または実務経験の成果**

研究テーマに関連する研究業績がある場合は、研究テーマに関連する研究論文等の写し（コピー）及び論文要旨（日本語 3,000 字または英語 1,200 語程度）を提出することができる（A⑬及び A⑭と同じ）。公刊されている必要はない。公刊されている場合、公刊を証する表紙等を付すること。その場合、研究業績リストも提出すること。研究業績リストには、論文の場合、全執筆者名、論文のタイトル、雑誌名、巻号、最初のページと最後のページ及び出版年を記載すること。未公刊の場合はその旨を明記すること。書籍の 1 章である場合、編者名、章のタイトル、最初のページと最後のページ、出版社及び出版年を記載すること。書籍の場合、全執筆者名、書籍のタイトル、ページ数、出版社及び出版年を記載すること。（A⑮と同じ）

実務経験がある場合、その成果をまとめたもの（レポート等）があれば提出することができる。

D⑩ 研究業績： 各 3 部

D⑪ 研究業績の要旨： 各 3 部

D⑫ 研究業績リスト： 3 部

D⑬ 実務経験の成果： 3 部

**D⑭ 社会人としての実務経験または研究歴に関する報告書： 3 部**

A4 版用紙に和文 2,000 字または英文 800 語程度。紙媒体 3 部を提出すること。（A⑮と同じ）

**D⑮ 自己申告書： 3 部**

実務経験または研究経験がある場合、本条第二号が規定する研究計画書に記載されている研究計画と当該実務経験との関連性を示す自己申告書

D⑯ 正規の教育課程とは別に、正規学生または研究生として、卒業はしていないが国内外の教育機関に通った経験があれば、その期間を示す在学証明書またはそれに類する書類

D⑰ その他特筆すべき顕著な実績を証明する書類

#### 4. 電子ファイルの提出

以下の提出書類については、電子ファイル（PDF ファイルまたは MS Word ファイル）を [gsidexam@adm.nagoya-u.ac.jp](mailto:gsidexam@adm.nagoya-u.ac.jp) まで送付すること。件名欄には志願者氏名を書くこと。

- D③ 志願理由・研究計画書
- D⑩ 研究業績
- D⑪ 研究業績の要旨
- D⑬ 実務経験の成果
- D⑭ 社会人としての実務経験または研究歴に関する報告書

#### 5. 受験資格確認手続き

(1) 受験資格確認申請期間

2019年8月1日（木）午後4時〔必着〕まで  
受験資格確認のために、検定料等の支払いは不要である。

(2) 出願書類提出先

文系教務課・国際開発研究科入試担当に書類を提出すること。

(3) 審査結果の通知

受験資格審査による結果は、概ね2週間以内に本人あてに通知する。

(4) 受験資格確認と出願

出願期間内に受験資格確認の申請を行う場合、出願手続きを同時に行わなければならない。その場合、検定料を支払わなければならない。また、出願後に行われた受験資格審査の結果、受験資格がないと判断された場合でも検定料の払い戻しは行われないので注意すること。

#### 6. 受験資格が確認された者

受験資格が確認された者は、願書受付期間（p. 1 を参照）に下記の書類を、文系教務課・国際開発研究科入試担当に提出すること。黒インクまたはタイプを使用すること。

(1) 全員が提出する書類（所定用紙）

A① 入学志願書\*

必要事項を記入すること。

A③ 写真票\*・受験票\*

必要事項を記入すること。写真は、上半身脱帽で正面写し、かつ3か月以内に撮影したものを写真票に貼ること。

A④ 領収証書\*

所定用紙に氏名を記入すること。

A⑤ 返信用封筒\*： 2通

所定の封筒2通に本人の郵便受け取り用住所、郵便番号、氏名を記入し、それぞれ切手〔372円分〕を貼付する。もし日本の切手が入手できない場合は、国際返信切手券6枚を入手して同封すること。

A⑥ あて名シール\*

所定用紙を使用。住所、郵便番号、氏名を2枚とも記入すること。

\*出願書類A①・A③・A④・A⑤・A⑥の請求は、この学生募集要項(p.1)の3出願所定用紙の入手を参照すること。

(2) 日本国籍を持っていない者が提出する書類

A⑧ パスポートの写し(コピー)

日本国籍を持っていない者は、パスポートの顔写真の載るページの写し(コピー)を提出すること。

A⑨ 在留カードの両面の写し(コピー)

日本国籍を持っていない日本国内居住者は、在留カードの両面の写し(コピー)を提出すること。

(3) 提出が任意の書類

A⑩ 語学能力試験の成績通知書の写し(コピー)

英語能力試験(TOEFL, TOEIC または IELTS) または日本語能力試験(JLPT)の成績通知書の写し(コピー)。提出は任意。

TOEFL-iBT (TOEFL Internet-Based Test) の場合得点が79点以上, TOEFL (Paper-Based Test) の場合得点が550点以上, TOEIC の場合得点が730点以上, IELTS の場合6.0以上(ただしAcademic ReadingとAcademic Writingを含むスコアに限る)であれば英語の試験を免除する。公式スコア票に顔写真が印刷されており、記載された試験日が出願時から遡って2年以内のものを有効とする。Institutional testのスコアは受け付けない。

## 7. 検 定 料

出願者は検定料を支払わなければならない。

必要書類に30,000円の郵便普通為替を添え、文系教務課・国際開発研究科入試担当に提出すること。郵便普通為替には氏名等何も記入しないこと。

Y① 30,000円の郵便普通為替

国費外国人留学生は、検定料を必要としない。なお、他大学から受験する国費外国人留学生は、「国費外国人留学生証明書」を提出すること。

## 8. 照 会 先

不明な点は文系教務課・国際開発研究科入試担当へ照会すること。

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 B4-4 (700)  
名古屋大学文系教務課 (文系総合館 1 階)



国際開発研究科入試担当  
 電話：052(789)4957  
 FAX：052(789)4921  
 Email：gsidexam@adm.nagoya-u.ac.jp

D. 受験資格審査を受ける必要のある者

提出物チェックリスト

(1) 受験資格審査用

D①	受験資格審査願	全員	
D②	履歴書	全員	
D③	志望理由・研究計画書：3部	全員	Email
D④	大学（学部レベル）または最終出身学校の成績証明書	全員	
D⑤	大学（学部レベル）または最終出身学校の卒業証明書	全員	
D⑥	返信用封筒	全員	
D⑦	推薦書	任意	
D⑧	自薦書	任意	
D⑨	実務経験または研究歴証明書	任意	
D⑩	研究業績：各3部	任意	Email
D⑪	研究業績の要旨：各3部	任意	Email
D⑫	研究業績リスト：3部	任意	
D⑬	実務経験の成果：3部	任意	Email
D⑭	社会人としての実務経験または研究歴に関する報告書：3部	任意	Email
D⑮	自己申告書：3部	任意	
D⑯	正規学生ではないが在学した証明書	任意	
D⑰	その他顕著な実績を証明する書類	任意	

ここに✓をいれる。

(2) 出願用

A①	入学志願書	全員	
A③	写真票・受験票	全員	
A④	領収証書	全員	
A⑤	返信用封筒：2通	全員	
A⑥	あて名シール	全員	
A⑧	パスポートの写し（コピー）	外国人	
A⑨	在留カードの両面の写し（コピー）	外国人	
A⑯	語学能力試験の成績通知書の写し（コピー）	任意	
Y①	30,000円の郵便普通為替	該当者	

ここに✓をいれる。

## E. 障がいのある者等で、受験上の特別な配慮を必要とする者

### 1. 特別な配慮に関する相談

障がいのある者等で、受験上の特別な配慮を必要とする者は、出願に先立ち、以下によりあらかじめ文系教務課・国際開発研究科入試担当と相談すること。

(1) 相談の時期：2019年7月1日（月）16時まで

(2) 提出書類

以下の書類を提出すること。

E① 障がい等の状況及び必要とする受験上の配慮を記した要望書

障がい等の状況及び必要とする受験上の配慮を具体的に記載したもの。A4判用紙に横書で記入すること。様式は自由。

E② 医師の診断書

障がい等に関する医師の診断書。受診日から3か月以内のもの。写し（コピー）でもかまわない。

E③ その他の書類

上記以外の書類を適宜添付してよい。

(3) 相談方法

文系教務課・国際開発研究科入試担当から連絡する。

なお、入学後の修学に関して相談の希望がある場合、出願期間終了日時までに問い合わせること。

### 2. 出願

文系教務課・国際開発研究科入試担当と相談のうえ、出願することができる。出願に当たって、

G. 大学を卒業した者または2020年3月31日までに卒業見込みの者⇒ G (p.5) へ行く。

D. 受験資格審査を受ける必要のある者⇒ D (p.9) へ行く。

### 3. 相談先

相談は、文系教務課・国際開発研究科入試担当と行うこと。不明な点は文系教務課・国際開発研究科入試担当へ照会すること。

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 B4-4 (700)  
名古屋大学文系教務課（文系総合館 1 階）  
国際開発研究科入試担当  
電話：052 (789) 4957  
FAX：052 (789) 4921  
Email：gsidexam@adm.nagoya-u.ac.jp

E. 障がいのある者等で，受験上の特別な配慮を必要とする者

---

提出物チェックシート

	E①	障がい等の状況及び必要とする受験上の配慮を記した要望書	全員	
	E②	医師の診断書	全員	
	E③	その他の書類	任意	

ここに✓をいれる。

名古屋大学大学院国際開発研究科

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 B4-4 (700)

電話 (052) 789-4957

FAX (052) 789-4921

Email : [gsidexam@adm.nagoya-u.ac.jp](mailto:gsidexam@adm.nagoya-u.ac.jp)

<https://www.gsid.nagoya-u.ac.jp/>